

多くの人に助けられて

中越地震からあ、というまに、一年がすぎました。今思い出すと、こわかったことや多くの人に助けてもらったことなどいろいろなことがありました。これは、今でも変わらな
ん。

最初の大きな地震から3時間が立ち、私の家族は、近くの小学校に行くことになりました。信号も消え、大手通りのライトもついていない。こんな暗い道を不安になりながら歩いたのは初めてでした。と中、駅を通りました。駅では、たくさんの方がいて、みんな叫びた
りをかけたりしていました。これを見て私は、ますます不安になりました。小学校につきま
した。中に入ると明るい電気がついていました。これを見て、私はすごく安心しました。
ただ、夜ごはんを食べていない私にとっておなかかかすいていたのです。け、まよく、その日は、エシロニで買、たあかしを少し食べ

てぬました。夜中、私はおきてしまいました。しばらくおきていると、ボランティアの方かもうふをくばってくれました。何もかけないでぬていた私は、そのもうふでぐすりぬました。

次の日。昨日、あまり食べにいない私は、すごくおなかかすいてました。すると、おにぎりをおくばってくれました。何もかけないおにぎりだ。たけひ、すごくおいしかっただです。それから、3日ひなん生活をしました。

ず、と予震がつづいてこわかったのです。でも、この地震のおかげで、食べ物大切さや電気の大切を知りました。最も学んだことは、

、私たちは、多くの助けられている。ということのです。もし、ボランティアの方がいなければ、ごはんも食やれなかつたかもしれない。それに、今みたいに楽しぐすつしていいかもしれません。私は、食べ物をおくばってくれた、ボランティアの方に、今でも感謝がいほどかんしゃしています。